

「えんぎがいい」とはどんなことだろう

十二月二十二日(水) はれ

ぼくが、学校からかえつたら、うちの門のまえに大きな門松が立っていた。ぼくは、しまった、と思った。きょう先生から門松のお話があつて、日本中の門松をやめたら、二十万の家ができる、と言われたので、ぼくたちは、クラス会で、門松を立てないよう、お父さんにたのもう、ときめたばかりだったのだ。

お父さんに話したら、「門松はえんぎがよかつぱい、よか正月さんがこらすけん、よか、よか。」と言つて、ぼくのたのみはきいてくれなかつた。ぼくがもう一度言つと、「子供がそぎやん心ばいはせんでよか。」とこわい顔をした。

兄さんに話したら、「だめだめ、お父さんはこれだからナ」とげんこつをかためて見せた。

「えんぎがいい」とどんなことだろう。ぼくは、学級委員だし、きょうの会議の議長だった。そのぼくのうちに大きな門松が立つていては、学校でみんなになんと言われるだろう。

晩に、こわしてやろう、と思つたけれど、兄ちゃんがきつて見せた、大きなげんこつが目にかんで、かなしくなつた。父ちゃんのばか、ばか、ばか、ばか、

ぼくはもう学校にいかない。

これは、一郎君の日記です。こんな気の毒な立場に追い込まれる子供達は、ほかにも沢山あることでしょう。

新しい生活、合理化された生活は、だれでもそれを願ひながら、地域社会に強く根を張つてゐる古い慣習にとらわれ、または、これを振り切る勇気がなくて、惰性の中にひきこもりがちなものですか。

これを振り切るためには、ある時期に線を引いて、集団でふんぎるのが最もよい方法だと思います。

そこで、県の新生活運動協議会では、その時期を年末年始において、婦人会、青年団、公民館、そのほか、官公署、会社やあらゆる団体の協力を願つて、県下一斉に「ふんぎり運動」をやつていただくことにしました。

そのため、十一月二十五日にこれらの代表者のお集りを願つて、次の事項を堅く守り実行することを申し合せたのです。

子供達は、新しい社会教育をうけ、それを実行しようとしています。この子供達を素直に成長させるためにも、この辺で一つ大きくふんぎりしましょう。

【実践事項】
一、門松はやめて国旗を揚げましょう。
二、贈答はやめて貯蓄に廻しましょう。
三、回礼、宴会はやめて、家庭で楽しく過ごしましょう。
四、お正月は新正月だけにしましょう。

譲りあつて 楽しい旅を

旅の新生活運動

毎年、十二月に入りますと、旅行者が急に増えて、汽車、バス、電車などすべての交通機関がたいへん混雑します。

そこで、この混雑をいくらかでも緩和し、ゆとりのある明るい旅にしたいものと、最も旅客の溢れる十二月十八日から二十四日までの一週間、「旅の新生活運動週間」が行われることになりました。

これは、新生活運動協議会が、日本国鉄、交通道徳協会などとともに全国一斉に行うもので、この期間中、国鉄の主要幹線に、大学生の「運動推進員」の乗務を願ひ、旅客に、「旅のエチケット」遵守を呼びかけたり、または、実地にそのためのサービス活動をしてもらうのであります。

熊本では、夏の週間にたいへん好評を頂きました女子学生に協力を求めて、次

のとおり実施することになりました。私どもの、ほんのちよつとした心懸けで、ずいぶん混雑も防げますし、車内の気分も変えられるものです。

わが家の楽しい団らんの中にまで持ちこめる、ほのぼのとした旅の印象！、そんな旅行であつたら、なんと素晴らしいことでしょう。

「新生活運動」も、そんな身近かなところにあるようです。ご支援を願ひます。

- 一 期間 十二月十八日—二十四日
- 一 乗車区間 鹿児島線熊本—久留米間
- 一 学生推進員 女子大学生 二名
- 一 推進方法 一 車内マイクで協力を呼びかけるほか、ちらし、七曜表(標語入り)を配る。
- 二 車内の清掃、整頓、旅客の誘導。
- 三 駅弁当にちらしを挿入して配る。

3 駅弁当にちらしを挿入して配る。

旅を美しく……

- ・ 席を汚さず、おしぼりや手拭いなど、車内をきれいに保ちます。
- ・ 車内を歩かずに、おしぼりや手拭いなど、車内をきれいに保ちます。
- ・ 車内を歩かずに、おしぼりや手拭いなど、車内をきれいに保ちます。
- ・ 車内を歩かずに、おしぼりや手拭いなど、車内をきれいに保ちます。
- ・ 車内を歩かずに、おしぼりや手拭いなど、車内をきれいに保ちます。
- ・ 車内を歩かずに、おしぼりや手拭いなど、車内をきれいに保ちます。
- ・ 車内を歩かずに、おしぼりや手拭いなど、車内をきれいに保ちます。
- ・ 車内を歩かずに、おしぼりや手拭いなど、車内をきれいに保ちます。
- ・ 車内を歩かずに、おしぼりや手拭いなど、車内をきれいに保ちます。
- ・ 車内を歩かずに、おしぼりや手拭いなど、車内をきれいに保ちます。

幻灯スライド完成!!

宝田みのり会の記録

たゞいま熊本県新生活協議会では「目でみる新生活」として、幻灯スライドの製作を進めています。その第一号として植木町宝田部落みどり会の活動ぶりを紹介したスライドが完成しました。

宝田部落は昨年の九月新生活運動のモデル部として指定を受けたところですが、画面を通して語られる農繁期の季節保育所開設をはじめ、善意と協同の精神に満ち溢れたみどり会の人々の活動ぶりは、県下の新生活運動に大きな励ましとなることでしょう。

▼全部で三十コマの着色スライドで、解説は録音テープに音楽入りでふき込んであります。

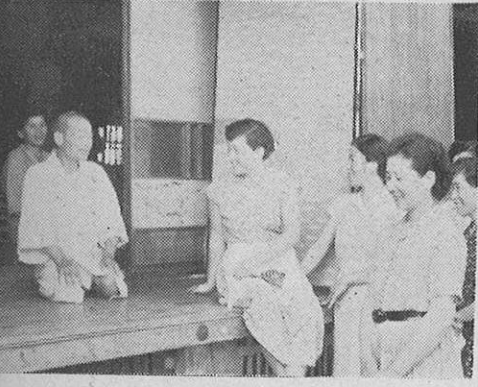
▼借用希望の団体は県広報渉外課内新生活運動協議会事務局へお申込み下さい。

おしらせ

自作スライドコンクールがひらかれます。全国広報研究会ではこのたび市町村や公民館の自作スライドコンクールをおこなうことになりました。応募締切は明年三月です。詳しいことは「広報くまもと」一月号に掲載しますから自信作をどしどしお寄せ下さい。

新生活シリーズ vol.1 宝田みのり会の記録 鹿本郡植木町 製作 熊本県新生活運動協議会

④古い考えから協力しない人には、熱心な人があつてはかえつて熱心な活動が活



②会員は養鶏、菜園、家政その他のグループに分れて活動を始めました。卵の出荷や菜園の手入れもすべて共同作業です。



⑤みんなの熱意は村総動員での奉仕作業で、農繁期の保育所もつくりあげ子供達は毎日楽しい集団生活を行っています。



③今日は当番の方が貯金を集めに来られました。豊かな明るい新生活はマズ貯蓄からというところです。



⑥こうして、みんな協力すれば何でもできるという自信を得た私達は、更に共同洗濯場の設置などへ進んでゆきました。

